

## 2021年度 第28回 日本グローバル教育学会全国研究大会のご案内（二次）

2021年7月26日

日本グローバル教育学会会長 金子 邦秀

第28回大会実行委員長 児玉 祥一

ごあいさつ

猛暑の候、会員の皆様方におかれましてはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

covid-19の感染状況は好転をみせてはおりませんが、第28回日本グローバル教育学会全国研究大会を第1次案内でお知らせしました通りに、2021年8月28日（土）に同志社大学烏丸キャンパス及び今出川キャンパスを会場に対面による開催とすることとなりましたことをお知らせいたします。なお、コロナ状況下での学会等の開催に関しましては、参加人数制限、コロナ定員による開場使用などを定めた同志社大学の規定を守り開催することとなります。そこで、参加をする皆様には事前参加申請をした上での会場入場とさせていただきたく存じます。

つきましては下記の要項をご確認ください、大会への事前参加申込みをお願いいたします。所定のあて先まで郵送、またはメールにてご返信くださいますようお願いいたします。多数のご参加をお待ちしております。京都府・市に緊急事態宣言の発出がされた場合につきましては再延期、またはzoomによる開催となりますことも併せてお知らせいたします。

### 1.大会テーマ 「New Normal」(新常態)時代のグローバル教育

(趣旨)

日本グローバル教育学会の2021年度のテーマを「『New Normal』時代(新常態)のグローバル教育」と設定しました。

2020年からは新しい学習指導要領に基づき、日本の教育が大きく転換する新しい時代が始まる年となるはずでした。しかし、2019年末から「COVID-19(新型コロナウイルス感染症)」と名付けられた感染症の世界的な流行は、人類に「New Normal」(新常態)とも言える時代を作り出すこととなりました。COVID-19の感染拡大が私たちにあらためて気づかせてくれたことは、現在の私たちの住む世界が国境を越えて「ヒト」「モノ」「コト(情報)」が行き来することが当然となっている高度にグローバル化している世界であることであり、グローバルなできごとは、一瞬にしてローカルなできごとと直結することとなることです。国境を閉ざしヒトとモノの移動が止まり国際的な関係が閉ざされれば、私たちの日常生活に大きな影響が及ぶことを実感する事態となることに気づかされることになりました。このような社会に生きる私たちにとってグローバルな視野を持つ教育は必然となりました。

そこで、本大会の基調講演・シンポジウムでは「New Normal」(新常態)でのグローバル教育をテーマに、求められるグローバル教育のあり方、ITCの活用を中心とする授業のあり方、2022年度から高等学校で始まる「地理総合」・「歴史総合」のあり方について、学校現場と研究現場で活躍している先生方より提案していただき、本大会に参加される会員の皆様とともに新しい学習を検討したいと考えこの企画を行うことにしました。

2. 期 日 2021年8月28日(土)

3. 会 場 同志社大学(京都市上京区今出川通烏丸東入)

4. 時 程

9:30	10:00	12:20	13:20	14:00	14:50	17:30
受付	自由研究発表	昼食	総会	基調講演	シンポジウム	

5. 後 援 京都府教育委員会 京都市教育委員会 同志社大学

6. 概 要

(1) 自由研究発表

- ① 発表時間：原則として、発表20分、質疑応答5分の合計25分です。
- ② 発表資料：発表資料：発表者各自で配布分(40部)をご用意の上、当日の自由研究発表開始10分前までに、各会場の係員にご提出ください。
- ③ 発表機器：自由研究発表申込時にご連絡いただいた方に限らせていただきます。発表前に各自で機器の動作確認を行ってください。
- ④ 発表中止：発表を、万が一取りやめる場合は、事前に大会実行委員会兎玉までご連絡ください。なお、発表時間の繰り上げは行わない予定です。

(2) 昼食

同志社大学の食堂はお休みです。参加者各自でご用意ください。なお、当日は、近隣の食事処マップをお配りします。

(3) 参加費用

2,000円

(4) 大会参加申込み

別紙の「参加申込み用紙」を使用。2021(令和3)年8月9日(月)締切り。

なお、京都府・市の学校関係者の方の申し込み締め切りは2021年8月16日(月)。

## 7. プログラム

◇自由研究発表 第1分科会 会場 SK101 司会：黄琬茜（秋田大学）

10:00 大塚 圭（中央大学杉並高等学校）

「グローバルなもの見方」の育成における国や地域による独自性の意義

— 日本とキルギス共和国における高校生のもの見方を事例に

10:25 児玉陽基（YKK 株式会社）

コスタリカの子ども選挙と主権者教育

— リベラル・デモクラシーにおける主体的政治参加に焦点を当てて

11:00 中嶋裕子（福山平成大学）

外国人技能実習制度における管理団体の役割と展望

— コロナ禍において増すその重要性

11:25 中田 稔（神奈川県立大磯高等学校）

「歴史総合」であつかう植民地朝鮮

— 〈大衆化〉と「内鮮一体」「皇民化政策」の教材化を通して考える

◇自由研究発表 第2分科会 会場 SK112 司会：奥野浩之（同志社大学）

10:00 今井信一（ぐんま国際アカデミー中等部・高等部）

国際バカロレアに基づく「中世の日本」の単元開発

10:25 弘田真基（京都市立桃山中学校）

歴史的な見方・考え方を働かせるカリキュラム開発

— 小単元「中世東アジア世界の権力と文化」を事例として

11:00 内藤裕子（愛知教育大）

中学社会科歴史的分野におけるグローバルな視点の導入

11:25 松村謙一（三重県四日市市立富洲原中学校）

中学校における教科融合型をめざしたカリキュラム開発に関する実践的研究

— 地球環境問題を学習領域としたカリキュラム・マネジメントについて

11:50 金野誠志（鳴門教育大学）

地域遺産・世界遺産の価値を伝え合い自他の文化理解を深める授業の試み

— 世界遺産と臺灣世界遺産潛力点を対照して

◇自由研究発表 第3分科会 会場 SK118 司会：沼田潤（相愛大学）

10:00 上原義正（合衆国オクラホマ州オクラホマシティー大学）

英語スピーキングの国際比較

— グローバル英語の探究

10:25 藤崎さなえ（東北大学大学院教育研究科）

クリティカルリーディングスキルを育成するための大学英語授業の開発・実践とその評価  
— クリティカルリーディングスキルチェック項目ワークシートを用いて

11:00 永田浩一（信州大学グローバル化推進センター）

ICTを活用したオンライン海外研修の教育効果について

11:25 大栗真佐美（京都市立修学院中学校）

早崎 恵（京都市立修学院中学校）

With コロナ時代を生きる中学生のICTを用いた国際交流の試み

— 教科横断的な学習を通して

11:50 仙石 祐（信州大学グローバル化推進センター）

永田浩一（信州大学グローバル化推進センター）

桑原摩帆（信州大学教育学部附属松本中学校）

荻原大輔（長野県中信教育事務所）

留学生と中学生の継続的な共修がもたらす影響に関する研究

◇自由研究発表 第4分科会 会場 SK119 司会：本多千明（武庫川女子大学）

10:00 小森翼（三重県松阪市豊地小学校）

ジョン・デューイにおける環境哲学

10:25 萩原浩司（皇學館大学）

グローバルな視点から持続可能な社会を目指す小学校社会科地域学習

— 地域の発展に尽くした先人「南方熊楠」に着目して

11:00 内海勝也（兵庫教育大学附属小学校）

教師主導の子ども中心主義の研究

— 木下竹次に着目して

11:25 峯岸由治（関西学院大学教育学部）

世界を対象とした生活科授業実践の動向

<自由研究発表要領>

発表時間：個人・共同ともに、原則として、発表20分 質疑5分とします。

発表資料：発表資料は、発表者各自で配布分（40部）をご用意の上、当日の自由研究発表開始10分前（9時50分）までに司会者に提出してください。

発表用機材：ノートパソコン、プロジェクター、スクリーンは用意します。使用する予定の発表者は、各自で事前に機器の作動確認を行ってください。パワーポイント等を使用される場合でも、念のため、プリントアウト資料40部をご用意ください。

発表中止：発表を取りやめる場合は、事前に大会実行委員長児玉までご連絡ください。

□昼食（12:20～13:20）

□総会 (13:20~14:00)

◆基調講演 (14:00~14:50)

石森広美 (宮城県仙台二華中学校・高等学校)

「Society 5.0 for SDGs に向けたグローバル教育の展望」

◆シンポジウム(15:00~17:30)

テーマ：「New Normal」(新常态)時代のグローバル教育

司会：児玉祥一 (同志社大学)

- ・若松俊介 (京都教育大学附属桃山小学校)

「New Normal」(新常态)時代における「ICT を活用した授業」

- ・美那川雄一 (静岡県立小山高等学校)

「New Normal」(新常态)時代における「歴史総合」

- ・中本和彦 (龍谷大学)

「New Normal」(新常态)時代における「地理総合」

8. アクセス



9. 締切り

会員大会参加申込み 2021年8月9日(月)

京都市・府学校関係者 2021年8月16日(月)

10. 問い合わせ先

第28回 日本グローバル教育学会全国研究大会実行委員会 児玉祥一

電話：075-251-3488 (研究室直通)

メール：[global.kyoto.2021@gmail.com](mailto:global.kyoto.2021@gmail.com)

第28回日本グローバル教育学会全国研究大会 自由研究発表・参加申込用紙

(フリガナ) お名前	( )
ご所属	
ご連絡先	〒 電 話 番 号 : (自宅・勤務先) 携帯電話番号 :
メールアドレス	

(あて先)

第28回 日本グローバル教育学会全国研究大会実行委員会 児玉祥一

電 話 : 075-251-3488 (研究室直通)

メール : [global.kyoto.2021@gmail.com](mailto:global.kyoto.2021@gmail.com)